

### いくつかの数の乗法

いくつかの数の乗法は、下のように計算する。

・符号: 負の数の個数が偶数個のとき、正の符号になる。

負の数の個数が奇数個のとき、負の符号になる。

・絶対値: それぞれの数の積になる。

・負の数の個数が偶数個のとき

$$(-7) \times (-4) = + (7 \times 4) = +28$$

↑ ↑ ↓  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↑  
負の数が2個(偶数個)で、正の符号になる

・負の数の個数が奇数個のとき

$$(-7) \times (-4) \times (-2) = - (7 \times 4 \times 2) = -56$$

↑ ↑ ↑ ↓  
それぞれの数の積になる

↓ ↓ ↓ ↑  
負の数が3個(奇数個)で、負の符号になる

1 次の計算をしなさい。

①  $(-2) \times (+4) \times (-5)$

②  $(-3) \times (+7) \times (+9)$

③  $(-4) \times (-9) \times (-6)$

④  $(+8) \times (-3) \times (-5)$

⑤  $(+10) \times (+5) \times (-7)$

⑥  $(-8) \times (-2) \times (+9)$

### いくつかの数の乗法

いくつかの数の乗法は、下のよう計算する。

・符号: 負の数の個数が偶数個のとき、正の符号になる。

負の数の個数が奇数個のとき、負の符号になる。

・絶対値: それぞれの数の積になる。

・負の数の個数が偶数個のとき

$$(-7) \times (-4) = + (7 \times 4) = +28$$

それぞれの数の積になる

負の数が2個(偶数個)で、正の符号になる

・負の数の個数が奇数個のとき

$$(-7) \times (-4) \times (-2) = - (7 \times 4 \times 2) = -56$$

それぞれの数の積になる

負の数が3個(奇数個)で、負の符号になる

1 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} \text{① } & (-2) \times (+4) \times (-5) \\ & = +(2 \times 4 \times 5) \\ & = +40 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } & (-3) \times (+7) \times (+9) \\ & = -(3 \times 7 \times 9) \\ & = -189 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{③ } & (-4) \times (-9) \times (-6) \\ & = -(4 \times 9 \times 6) \\ & = -216 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{④ } & (+8) \times (-3) \times (-5) \\ & = +(8 \times 3 \times 5) \\ & = +120 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{⑤ } & (+10) \times (+5) \times (-7) \\ & = -(10 \times 5 \times 7) \\ & = -350 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{⑥ } & (-8) \times (-2) \times (+9) \\ & = +(8 \times 2 \times 9) \\ & = +144 \end{aligned}$$